

2023.2.15

## Euroluca/エウロルーチェ 2023:未来の照明を発信

デジタル化、小型化、電動化、持続可能性、新素材、総合的思考と装飾照明・技術照明との境界線が限りなくなくなることで、美学と機能性を兼ね備えた新世代の基礎が形成された照明を、新しいエウロルーチェで一堂に会します。

光は、ハイパーコネクテッドワールドの中心であり、サステナビリティやデジタル化プロセスに関する考察の中心であると同時に、人間の幸福に関するホリスティックな思考の中心でもあります。私たちは、光が知覚、パフォーマンス、嗜好、行動、そして気分さえ影響を与えることを知っています。そのため、照明デザイナーは、技術の進化だけでなく、光をめぐる哲学的な考察を取り入れ、これからの照明器具のあり方を変えるような新しいコンセプトを提案することが求められているのです。エウロルーチェは、4つのパビリオン(9-11、13-15)に分かれた 30,250 m<sup>2</sup>の展示スペース (イベントやパブリックスペースを除く) と 321 社(うち約 45%は国外)が出展、業界の国際的なベンチマークである見本市の第31回目これを提案します。

### 持続可能性

照明業界では、この 10 年間、省エネが大きなテーマの一つとなっています。現在では、設計・生産の両方で、さまざまな取り組みが導入されています。

まずデザイン面では、低消費電力で高効率の LED 光源が開発されています。新しいソリューションはますますスマートになってきており、光を正確にかつ継続的に導くことができるため、不必要な無駄を省くことができます。ネットワーク化された新しい制御システムは、時間指定起動と調光を可能にし、内臓センサー、個別制御システム、Tunable White (白色光の調色) 技術と組み合わせることで、必要なときだけ点灯し、自然光と組み合わせることで特定の作業を行うために必要な光量で、エネルギー効率の高いダイナミックな照明を実現します。

生産面では、照明器具の製造と販売において、循環型経済の導入が進んでいます。革新的な素材を追求することで製品の耐久性を高めることはもちろん、リサイクルや再生可能で負荷の少ない原材料を使用し、複数の用途に適した照明器具を賢く生産することで、金型の数や生産に使う機械からの排出を制限することが可能になります。

更に、持続可能性の問題から、製品寿命が尽きたときの部品のリサイクルについても、企業は具体的な解決策を提示することが求められています。さらに、照明デザイナーは、自然光と人工光の関係を再考し、両者を最適な形で組み合わせることで、革新的で持続可能な照明を目指しています。屋内では自然光を最大限に利用して廃棄物を減らし、環境を保護す

ることを目指し、**屋外**では太陽エネルギーを利用して電力を供給できる照明器具に焦点をあてているのです。

### デジタルゼーション

照明技術分野でも、デバイスと人工知能システムの通信を可能にし、ユーザーが簡単かつ効率的に光源を管理できるようにする**コネクテッドフューチャー**に向けての大きな前進があります。IoT 制御システムの統合により、**能動的に変化する光**を生み出すだけでなく、**データの収集**もサポートし、スマートフォンやタブレットで制御して**パーソナライズされた照明**も生まれました。市場、企業、デザイナーは、特にワークスペース、店舗、美術館、病院、駅、空港などの公共の場で、単に光を提供するだけでなく、情報源や信号ツールとなる照明器具の開発を試みています。更に、LiFi (Light Fidelity) 技術の初期のアプリケーションは、すでに現実のものとなっています。これは、LED から発せられる光波を利用して**無線でデータを送信**するもので、この進化により、すべての LED 光源が情報送信装置に変わる可能性があります。デジタル化の進展は**製品デザイン**にも**影響を与え**、**光量や質、光線の方向**など、外部からの刺激に反応することができる、より**ダイナミックな光**を提供するようになります。

### HCL ヒューマン・セントリック・ライティング

照明デザインの分野で革新的なのは、人間の生理的・神経生理学的な側面と、その居住空間の建築との関係を明らかにした**神経科学**です。照明デザイナーの仕事は、**光の人間への影響**に関する科学的発見にますます影響を受けています。もはや空間を照らすだけでなく、**人間のパフォーマンスを向上させ**、照明シーンが喚起する**幸福感や快適さを増幅させる**ためにデザインすることが必要なのです。そのため、**ヒューマン・セントリック・ライティング (HCL)**は、**高品質でダイナミックな光**を提供することによって、人々を「気持ちよく」させることを目的としています。1 日のうちで強度を変化させ、集中する時間と休む時間を交互に作り、人間の概日リズムを整え、メラトニンの生成を抑制または促進し、光のスペクトルと**ユーザーのニーズ**の両面から、できるだけ**自然の太陽光**に近い形で提供することができます。これは、**イノベーション**の強力な動機付けとなるものです。今日では、インテリジェント・システムのおかげで、最先端の製品は、**人の身体的反応を感知**し、特に色温度や光の色などの**照明パラメーターを変更**することによって、ストレスや倦怠感のある状況に介入し、健康な状態を再現することができるようになりました。さらに、**毛様体や眼球の動き**を読み取ったり、**人の姿勢や発汗、動作**などをとらえる高機能センサーを照明機器に組み込むことが、HCL の最後のフロンティアになるでしょう。これらの情報をもとに、ユーザーの無意識のニーズにも効果的に応えられるような製品設計が可能になるのです。



## デザイン

テクノロジーに加え、**詩、感情、美**も今回の主役となります。照明デザインは、もはや「トレンド」としてのスタイルの領域を越え、さまざまな提案や刺激を取り入れ、ありきたりなものを排除し、新しい複数の美的・装飾的提案を考案しています。多くの作品に見られる、シンプルな形と柔らかい色で構成されたミニマリズムは、強い個性を持った光り輝くオブジェや、より造形的ではっきりとした装飾的なスタイルに取って代わりつつあります。自然素材やクラフトにインスパイアされた技法がとスーパーテクノロジーと入れ替わり、小柄なプロポーションやポータブルは、明確な舞台効果や演劇的效果を持つオブジェクトの壮大さとエウロルーチェのステージ上で競い合うことになるでしょう。

プレスお問い合わせ先: 山本幸 [yuki@milanosalone.com](mailto:yuki@milanosalone.com)

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti [press@salonemilano.it](mailto:press@salonemilano.it)